



常盤の緑

さいたま市立常盤小学校
学校運営協議会だより
令和5年12月1日発行

第2回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が開催されました。

令和5年6月27日（火）に常盤小学校、常盤北小学校、常盤中学校の3校合同で行われた第1回学校運営協議会の熟議を受け、学校、家庭、地域がそれぞれできることに取り組んできました。第2回は各校で行い、常盤小学校では11月17日（金）に開催しました。今回は、「あいさつ運動」や「ときわっ子モーニングイズ」等の児童会による取組についての実践発表がありました。



（児童会による実践報告）



（熟議）



（図工の授業を参観）

○児童会による実践報告

- ・児童会のスローガンを達成するための取組といじめ撲滅に関する取組の紹介が行われた。
- ・一例として、スローガン達成のための取組の一つとして、「楽しんだもん勝ち モーニングイズ」が紹介された。内容は、代表委員が太陽の子広場でクイズとその日のキーワードが書かれている紙を持ち、登校して来る人にあいさつをしながら問題を解いてもらうというもので、「この活動により、多くの児童が楽しく問題を解き、積極的にあいさつをしている様子が感じられた。」という報告があった。

○熟議

テーマ「第1回学校運営協議会での熟議を受けて、学校、家庭、地域がそれぞれ取り組んできたことを踏まえ、今後どのように連携を深めていくか。」

熟議で出たご意見等

- ・常盤公民館では、「子どもまつり」を開催して、子どもが200人近く来て楽しく活動した。その中で、大人が子どもたちを褒めるということで、子どもたちも良い活動や良いコミュニケーションが取れるようになった。PTAでは、「ときわっ子まつり」でブースを作って、昔遊びをした。子どもたちはとても楽しんでいて、保護者とのコミュニケーションが取れていた。この例のように、企画することや子どもたちと話ができるような場を設定するなど、機会を設けるということが大切だと感じている。
- ・児童会の「モーニングイズ」の取組は、単に「おはよう。」という声をかけるのではなく、そこにクイズという仕掛けを組み込んで、コミュニケーションが生まれるということをねらった取組である。子どもたちは教師の意図をくみ取って、活動を企画してくれた。
- ・あいさつは一つの手段であり、価値を捉えることが大切である。そのきっかけづくりとして、常盤小学校で取り組んだ「モーニングイズ」はとても素晴らしいものである。
- ・常盤小学校、常盤中学校があいさつ運動に取り組んでいるので、地域の巡回中に子どもの方からあいさつをしてくれるようになってきている。あいさつ運動の成果が出ていると感じている。

○終わりに

第1回学校運営協議会の結果を踏まえ、熟議を行いました。具体的な内容が出てきて深まりを感じました。第3回（令和6年2月20日開催予定）は、3校合同で行います。各校での熟議の内容を持ち寄り、さらに熟議を深めてまいります。